

派遣報告書（報告者：千原翔太）

大会名	第55回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会	
開催地	長崎県大村市 シーハット大村	
日時	令和7年 2月15日（金）～ 17日（日）	
担当ゲーム1	（男子1回戦）九州学院（熊本1位） vs 長崎工業（長崎2位）	
相手審判	CC：前田 隼大（鹿児島県） U1：石嶺 壮一郎（沖縄県） U2：千原翔太（大分県）	
Pre-Game Conference		
<ul style="list-style-type: none"> ・ チームスカウティング（プレイヤーやチームの特徴の理解・戦術面の認識） ・ ベンチとコントロール ・ IOT について ・ プライマリーについて 		
Post-Game Conference		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ベンチのコントロールをクルーとして対応できると良かった ・ トラベリングの判定に関する基準について 		
担当ゲーム2	（女子決勝）小林（宮崎1位） vs 鎮西（長崎2位）	
相手審判	CC：長田（鹿児島県） U1：千原 翔太（大分県） U2：立石 龍吾（佐賀県）	
Pre-Game Conference		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ベンチコントロール ・ IoT について ・ テンポセットについて 		
Post-Game Conference		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のプライマリーで大きな接触がある場合は、何かしらのコールをすべきケースがあったのではないか。 ・ 外国籍の選手への3秒など、前半の段階でコールできると良かった。 		
担当ゲーム2	（女子決勝）東海大福岡（福岡1位） vs 慶誠（熊本1位）	
相手審判	CC：井元 誠（熊本県） U1：西崎 拓哉（福岡県） U2：千原 翔太（大分県）	

Pre-Game Conference

- ベンチコントロール
- IoTについて
- テンポセットについて
- タクティカル・キープレイヤーの確認

Post-Game Conference

- ファールの基準や守り方について（インサイドを中心に）
- ベンチからアピールがあった件について検証
- トラベリングについての確認

今大会を通して

今大会では、改めてベンチコントロールの難しさを感じました。トラベリングやファールなどクルーで基準やフロー共有しながら進めていきますが、ベンチとの温度差があるゲームをいかに円滑に進めるのかという点が課題と感じました。どのように伝えるか、いかにしてオブビアスな現象を積み重ねていくか、プレゼンテーションなど、タフなゲームだからこそ、原点を大切にしなければならないと痛感しました。自らが望むステージに向け、更に研鑽を重ねていきたいです。また、今大会では女子の決勝を担当させていただきました。力強く最後までプレイするものに対して、RSBQをどこまで見極められるか。という点に難しさを感じました。1つ1つの判定を確認し、判定のタイミングと精度にこだわっていきたいと思います。今大会で学んだことを今後、県内での活動に生かして参ります。派遣いただきましたことに感謝申し上げます。